

第2部

「平成17年度年間事業評価」の結果

< 概要 >

まず、評価手法に基づいて課題毎の評価内容をどのように記述するのかについて、評価フォーム記載要領として解説しています(1.)。

次に、「基本業務分野」、6つの「事業分野」(注)の順に、課題毎の段階評価と具体的な評価内容を記しています。なお、「事業分野」については、各分野の冒頭に課題の解説と評価の要約を掲載しています(2.3.)。

(注) 「基本業務分野」...3つの課題群
事業に関する課題
財務に関する課題
組織能力に関する課題

「事業分野」...6つの分野
国際金融秩序安定への貢献
開発途上国の経済社会開発支援
我が国にとっての資源の確保
我が国の資本・技術集約型輸出の支援
我が国産業の国際的事業展開の支援
開発途上国における地球規模問題・平和構築への対応支援

年間事業評価の手法(第1部第3章参照)に基づいて各「課題」への取り組み状況を評価した結果については、以下の評価フォーム記載要領にて記載しています。

課題

【注釈】

取り組み例	指標	2002 (14年度)	2003 (15年度)	2004 (16年度)	2005 (17年度)		2006 (18年度)
					計画	実績	計画
	(指標1)						
	(指標2) モニタリング指標						
	(指標3)	新規					
評価結果							

「課題」の番号と名称

「指標」の「計画値」、
「実績値」を記載
(2005年度に設定した新規
指標は、データ入手困難等の
事情から、過去の実績値を記
載していません)

段階評価を記号で記載
(. . .)

段階評価の定義

：優れた取り組みがなされたと評価します。 ：良好な取り組みがなされたと評価します。 ：今後の取り組みに留意が必要です。
-： 外部環境の変化等により評価不能。

1. 年間事業計画に掲げている取り組み例に関する評価

「取り組み例」(~)
毎の評価を記載

・ (指標1) については…
 <事例紹介> 事業 (国)
 ・ (指標2) については…
 ・ 上記指標の対象としていませんが…
 ・ (指標3) については…
 …すべく、…に取り組みました。

「指標」の達成度の評価
(定量評価、質的側面を加味)

取り組みの実例を分かり
やすく示す「事例紹介」

「指標化していない取
り組み」の評価
(定性評価)

2. 追加的な取り組みに関する評価 (年間事業計画に予め掲げていないもの)

計画に予め掲げていな
い「追加的な取り組み」
があれば、評価を記載
(定性評価)

…すべく、…に取り組みました。

3. 課題への取り組み状況の評価結果

・ 上記に照らし、課題への
 { 優れた取り組みがなされたと評価します。
 良好な取り組みがなされたと評価します。
 今後の取り組みに留意が必要です。
 ・ 今後、…必要があります。

上記評価を総合化し
た、段階評価を記載

評価結果を踏まえた、
業務改善策等を記載